



A 弘法岩

【コウボウイワ】-自然が生んだ造形美-
展望台付近にある「弘法岩」。「弘法の雨宿り石」とも呼ばれ、人がスッポリ入る穴は弘法大師の姿が映ったものだと伝えられています。



B 念仏坂などの急勾配

【ネンブツザカ】-上級者をもうならせる急坂-
念仏を唱えたいくなるほどきつい「念仏坂」など、急勾配が続く牛斬山から福智山までの尾根。登山上級者に人気の名スポットです。



C 竜ヶ鼻ノロシ台跡公園

【リュウガハナノロシダイアト】-福智町を一望-
敵の侵攻を香春獄城にノロシで知らせていたとされる場所。近くには山肌に石灰岩が突出した「竜ヶ鼻」もあり、見晴らしは最高です。



D 紅葉ヶ滝霊場

【モミジガタキレイジョウ】-心洗われる空間-
滝から流れる美しい水や深緑の木々、こけ蒸したお地藏さんなど、身も心もリフレッシュできるパワースポットです。



E 福智に眠るエドヒガン 虎尾桜と源平桜

【トラオザクラ・ゲンペイザクラ】-1年に1度だけ出会う、山腹に咲く美しい桜-
樹齢600年を越す県内最古のエドヒガン「虎尾桜」と、赤と白の花を咲かせる対のエドヒガン「源平桜(源氏桜・平家桜)」が、山腹にひっそりとたたずんでいます。春にだけ会えるその幽玄な姿は、登山の疲れも癒やすほどの美しさです。※今年の開花予想は3月下旬から4月上旬。



F 落差 25 mの絶景の滝 白糸の滝

【シライトノタキ】-見る者の身と心に涼と感動を流し込む、時を越え流れ続ける滝-
松尾芭蕉の門人で芭蕉十哲の一人、俳人・志太野坡もかつてこの地を訪れ、白糸の滝の美しさに感動し、「投入して 滝見顔なり 折躑躅」(俳書「折躑躅」)の句を残しています。偉人も魅了されたこの滝の眺めは、悠久の時を越えて今なお多くの人に愛され続けています。



G 歴史ファン急増中のロマン漂う山城跡 鷹取城跡

【タカトリジョウアト】-「名槍日本号」を呑み取った、黒田官兵衛の重臣・母里太兵衛ゆかりの地-
今も石垣が残る鷹取山山頂には、かつて黒田官兵衛ゆかりの「筑前六端城」のひとつ、鷹取城が築かれていました。その城主を務めていたのが、武将・福島正則の「名槍日本号」を呑み取った逸話を持つ母里太兵衛。“酒は呑め呑め…”で有名な「黒田節」のモデルになった人物です。



脚光を浴びる Mt.FUKUCHI Trekking Style
名峰福智山がアツイ

町を見守るようにでんと腰を据える福智山。その美しい稜線は今も昔も変わらずに人々を魅了してやみません。最近では自然派志向の登山客の増加や、NHK大河ドラマ「黒田官兵衛」などで福智山の魅力が注目され、「これを機に登ってみよう」と思っている人も多いはず。ただ、せっかく登るなら、山頂を目指すだけではもったいない。今回の特集では、福智山に挑む前にぜひ知ってほしい、山の歩き方や、この地に眠る史跡や逸話をご紹介します。



牛斬ルート登山口

名峰福智山の魅力がギュッと詰まった逸品!
福智山登山マップ&パンフレット「楽しい福智山歩き」
無料

福智山の魅力はまだたくさん眠っています。ここで紹介しきれなかった詳しい登山ルートや山の楽しみ方は、町が発行している「福智山登山マップ&パンフレット」をご覧ください。在庫に限りがありますので、お求めはお早め!
岡まちづくり総合政策課 ☎ 22-7766

町HPでも公開中!

C ● 竜ヶ鼻ノロシ台跡公園
D ● 紅葉ヶ滝霊場



牛斬山 580M

焼立山 759M

念仏坂 B

赤牟田の辻 791M

福智山 901M